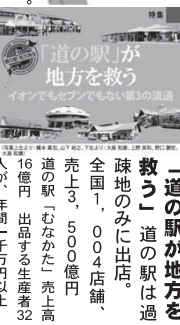




水口 崇

**防災対策(義援金を集めるべき)**  
町長は、トルコの地震のときは、「人ごとではない」と募金箱を設置したが、紀伊半島豪雨水害も今回の竜巻被害に対しても義援金を集めない。串本町には相互扶助の精神がない。町長 被害者は家の保険に入ったとか災害保険に入ったとか、いろいろされておる。



不納欠損をすることは、公平ではないむしろ不公平であると監査委員に指摘しましたが訂正が無し。**イベント監査の必要性**  
によって、適正に経済や効率的及び効果性の観点によつてこの事業にお金を使ったかという監査も必要である。無計画な無駄遣いや趣味的な娯楽的なものに使い、ツケを町民に回さない。

**「道の駅が地方を救う」**道の駅は過疎地のみに出店。全国1,004店舗、売上3,500億円  
道の駅「むなかた 売上高16億円 出品する生産者32人が、年間一千万円以上過疎地を救うのは、この道の駅だ。第3の流通として、日本経済新聞に取り上げられました。  
橋杭道の駅は、年間70万人来場の日本でも好条件の立地、魅力のあるこの道の駅を生かすべくである。  
新聞の中に書かれています。  
道の駅、自治体は場所を提供するだけで、運営は民間が行う。自治体は予算があっても利益を追求するというコンセプトがない。民間企業は利益追求が目的で、その意味で役割分担ができてくるのが道の駅である。橋杭道の駅は行政が声を出し過ぎた。

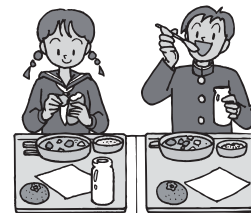


結城 力

新年おめでとうございます。今年も、町民の皆様のご暮らしを守るためにがんばります。昨年、9月議会で学校給食センター建設設計委託料として2161万円の予算を可決しました。今年、平成26年度から建設を開始して、平成27年度に串本小・中学校の全児童・生徒に給食を実施する予定となっております。

一般質問をいたしましたので、この件についてご報告します。  
質問の要旨は、アレルギー疾患を有する児童・生徒にも給食対応が出来る施設とすること。(平成21年4月1日文部科学省通達「学校給食実施基準の施行について」(学校給食は在学する全ての児童・生徒に対して実施されるものとする。)を遵守できる施設建設を行うこと。同省通達「給食衛

生管理基準」(HACCPの衛生管理に準拠した施設とすること。また運営を行うこと。)を参考に衛生管理に配慮した施設建設を行うこと。等について、当局を質しました。  
当局の答弁は、アレルギーはふえてゆく状況にありますので、これは重点点に考えなくてはならない問題だと教育委員会でも理解しており、その辺のことは十分対応していきたいと思っております。という適切なものであります。



アレルギー疾患を有する児童・生徒は年々増加しており、その子供たちが給食を食べられず、家から弁当持参という事にならないように、串本町の学校給食が実施されることを期待します。

### 一般質問

### 一般質問



橋爪 和雄

**1 優しい町づくりについて**  
(1)要援護者が安心して通れる道路について  
(2)空き校舎を利用した体力づくり(リハビリ)施設について  
(3)郵便投票の奨励について

**2 安心安全 良好な住宅の提供について**  
(1)今後の住宅建て替え計画について  
(2)空き家の有効利用について  
(3)新給食センターの取組みについて

(1)建設費について(財産区の協力について)  
(2)作業やすく無駄のない調理場について  
(3)食材(アレルギー児童の対応)について  
(4)喜ばれる給食の提供について  
(答)町から財産区の資金を建設費の財源として求めていくことはすべきでない。作業しやす



い調理場づくりには誠心誠意努める。食材は地産地消を基本とし、県外から購入の場合は承認を受けた食材で対応していきたい。アレルギー児童については保護者や教職員、主治医等との連携、消防や病院との連携が図られるような体制づくりを考えたい。

**4 本州最南端を全国に発信できる町の取組について**  
(1)フリーマーケットの取組みについて  
(2)自然エネルギー拠点基地の取組みについて  
(3)石仏巡りについて

(答)希望団体があれば、観光協会や関係機関等と協議して検討したい。海流発電や太陽光発電に適した当地を全国に売り出していく必要がある。  
\*石仏や石碑を活用すれば面白い観光メニューができるだろうと思う。本州最南端を全国発信したいので町当局・町民の皆さんの情報のご協力をお願いします。(橋爪)



川勝 昇

**《9月議会》**  
1 資源を活用した町づくりの推進  
○黒潮海洋発電構想  
○山林資源とバイオマス発電所  
○間伐事業促進と雇用拡大  
※県の検討委員会とも協議推進する。広域課題でも検討。

2 橋杭「道の駅」駐車場拡大整備(国道安全対策)  
※漁協や県とも協議し一日も早く整備を進めたい。  
3 矢の熊地区避難路整備、役場庁舎、火葬場、行財政改革推進  
※矢の熊は住民負担が大きくなる見込み。庁舎は12月議会に構想を示す。火葬場は場所に関しても少し時間を要す。行財政改革残りの課題は本年中に検証予定。

4 財政計画は経常収支比率の改善が課題。一層の努力を要す。  
※経営診断でも強調されています。改善に努める。

**《12月議会》**  
1 避難路・避難場所整備、高速道路計画関連対策、各地区防災センター整備  
※避難路残事業77路線、有利な制度を活かし整備促進する。高速道路細かいルート不明、作業道の有効利用等今後折衝したい。各地区防災センターは適地が見つかったところから計画する。  
2 トレス市友好と木曜島関係  
※環境省、県の尽力で潮岬に新施設が完成する。遺族会とも相談し対応したい。トレス市への親善答礼訪問もしたい。

3 稲村農道計画は3年で事業完成を目指すこと。町の公園創造は早期に取組む。  
※地元との協議で検討す。



馬場からの稲村台遠望